

お祝いの言葉

東北大学 学位プログラム推進機構長として、2017年度東北大学リーディングプログラム部門、並びに国際共同大学院プログラム部門の修了式を挙げるにあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

本日、東北大学博士課程教育リーディングプログラム「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」を修了された20名の皆さん、「マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム」を修了された5名の皆さん、そして、国際共同大学院プログラムの「スピントロニクス国際共同大学院プログラム」を修了された1名の方、プログラムの修了、誠にありがとうございます。

また、本プログラムをここまで導き、運営をしてこられたリーディングプログラム・コーディネーターの湯上浩雄先生、長坂徹也先生、国際共同大学院・プログラム長の平山祥郎先生をはじめとする諸先生方、安全・安心プログラム、物質プログラム、そして今回初めて修了生を出した国際共同大学院プログラムの関係者の皆さん、さぞ感慨も一入だろうと推察しております。本日の修了式の挙行をお喜び申し上げます。

さて、今回修了された皆さんは、プログラムの理念や目標、そしてカリキュラムが既に提示されていたとはいえ、ロールモデルとなる先輩が少ない中でのプログラムへの参加ということで、大きな不安が胸中をよぎったものと思います。

しかしながら皆さんは、手探り状態であったとは思いますが、同期の仲間とともに、そして後輩とともに、大いに勉学に励み、プログラムが求めるカリキュラムをこなしてきました。そして、それぞれの部門における学位審査に無事合格し、修了認定を受けることになりました。研究科・専攻における通常の大学院カリキュラムの他に、プログラムのカリキュラムもこなすという皆さんのこれまでのご努力に、深く敬意を表します。

この2月に、科学技術・学術政策研究所が一昨年11月に実施した「博士人材追跡調査」の結果を公表しました。その結果は、リーディングプログラムに参加した学生の評価結果は、「教育・研究の質」、「人的ネットワークの広がり、異分野との交流・協働」、「キャリア開発支援や進路指導」、「国際性の向上」、「博士課程に関する全般的な満足度」の5つの観点のすべてで、一般の博士課程学生よりも有意に高いスコアであったというも

のです。本学の2つのリーディングプログラムは、中間評価で高い評価を得ております。今回修了された皆さんも、この調査結果と同様、それぞれのプログラムに高い満足度を得たものと思います。

皆さんは、皆さんの専門分野で培った力と、リーディングプログラムや国際共同大学院プログラムで培った力とを合わせ持って社会に巣立ってゆきます。幾多の難題や困難が待ち受けていると思いますが、きっと乗り越えられると、私は確信しています。

最後になりましたが、改めて修了生の皆さん、本日は誠におめでとうございました。皆さんはプログラムを離れ、一人ひとりが新しい場所で新たな活動を始めると思いますが、思う存分皆さんの力を発揮してくださることを祈念いたしまして、私のお祝いの言葉いたします。

2018年3月28日

東北大学学位プログラム推進機構・機構長／理事

花輪 公雄